

「言葉が聞きたい」(Ⅲ)

人生というよくできた言葉がある。でも人生は誰にも同じようになりながら、皆一人ひとりのものでしかない。変えること代わることでできないものだ。

私の人生

それは何？ それで本当にあるの？

どこに？ どうしたらいいの？ どうしよう…

(教えて、ねえ教えて。教えてほしいの、言葉で)

私は何を知っている？

私は何ができる？

知っていると言えるほどに知ってはいない。できると言えるほどにできはしない。

全ては暗闇の中でうごめきながら手探りを繰り返している。

私は、蜘蛛の糸をつかもうともがくカンダタと変わらない。

消え去っていく運命

暗闇に閉ざされていく記憶

そこに光を届け、命を吹き込むことのできる言葉。

それは私が無意識のうちに求めているもの。

それは私に向かつて超越的に明かそうとしてくる真実。

暗闇の奥からかすかに開かれてくる細い光の帯

言葉

言葉が聞こえる